

「かいばおけの中に」

早くも今年、最後の月である12月を迎えました。1年の締めくくりの月ということもあって、いろいろと忙しく、慌ただしい中にあるとは思いますが、ふと心を静め、この時期、クリスマスの本当の意味を思い巡らしたいものです。



11月20日からサッカーワールドカップが開催されています。日本は12月に入り、第3戦のスペインに勝利し、そのスペインと共にグループEを勝ち上がり、決勝リーグに進出が決定しました。これから、どの国のチームが勝ち上がっていくでしょうか。ちなみに今回、同じグループになったドイツ、スペイン、コスタリカにおけるクリスマスを調べましたので、簡単に紹介します。まずドイツと言えば、宗教改革者ルターや音楽家バッハ、ベートーベンなどがいます。妻が群馬県で伝道師をしていた時からお世話になっている教会のある方が、毎年、この時期にクリスマス定番のお菓子である手作り「シュトーレン」を、ほかのパンと一緒に送ってくださっています。ドイツの教会は、人々の教会離れが増加していると言われますが、それでも聖書信仰に立つ教会や団体が存在することは心強いことです。実際に日本からドイツに宣教師として行かれている方もおられることが宣教団体のニュースレターに書かれています。スペインはカトリックの人たちが大多数を占めています。プロテスタントは少数ですが、プロテスタントの教会の数も増え、成長を遂げているとも言われます。スペインに限りませんが、サッカーでゴールを決めたあとにゴールパフォーマンスとして、十字架を切ったり、天に向かって指をさしたりする選手もいます。中南米のコスタリカもカトリックが多数を占めており、クリスマス特有の食事があるようです。多くの国と同じようにクリスマスツリーやクリスマスプレゼントなどがありますが、イエスさまのご降誕をお祝いすることが人々の認識の中に強くあるようです。

さてクリスマスの記事として、イエスさまの誕生に際して、次のように聖書には書かれています。「ところが、彼らがそこにいる間に、マリアは月が満ちて、男子の初子を産んだ。その子を布にくるんで飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らのいる場所がなかったからである。」(ルカの福音書2章6-7節)。

すでにマリアは神様の特別なお働きによって、聖霊によって妊娠し、身重になっていました。今であれば私たちの社会のように車や電車を使っているいろいろなところに簡単に移動することができますが、当時はそのような交通手段はありませんでした。ですから、体内にいのちを宿していたマリアにとって、動物に乗ってナザレから南にあるベツレヘムまでの旅は大変だったと思います。距離があるだけではありません。イスラエルの地は標高が平均で800メートル、最高地点で1200メートルを超えていますから、出産を間近に控えていたマリアにとって、ベツレヘムに行くことは決して平坦な旅ではありませんでした。

何日くらいかかったのでしょうか。二人はついに故郷のベツレヘムに帰りましたが、大勢の人がそれぞれの地域から集まっていたから、人々でごった返していたことでしょう。どこの宿屋もいっぱい、ヨセフと出産を控えたマリアには宿泊する場所がありませんでした。なかなか宿泊する場所を見つけることができなかつたヨセフには焦りさえ感じたかも知れません。そしてかろうじて赤ちゃんのイエスさまが生まれたのは、何と家畜小屋の「飼葉桶」でした。飼葉桶というのは動物たちが餌を食べるためのいわば「えさ箱」です。子ども向けの聖書絵本や私たちが持っているイメージでは、やわらかい干し草や暖かいわらの上に赤ちゃんのイエスさまが寝かせられたというのがおおかたかもしれません。しかし「考古学」の本によると飼葉桶は木製のものではなく、むしろ「石製」であったと書かれています(『聖書考古学』—新約聖書編 杉本智俊著、いのちのことば社、2014年発行)。

また家畜小屋というと、家の離れにあるイメージを私たちは持ちますが、必ずしもそうではないようです。世界の救い主であるイエスさまがお生まれになった所は、現代のように設備の整った病院ではなく、家畜小屋でした。当時の家畜小屋は、洞穴(ほらあな)もしくは家の1階部分にあたる家畜小屋であったようです(その場合、2階が宿泊場所)。いずれにしても、救い主がお生まれになった場所としては、粗末な場所でした。また決して衛生面でも整った場所ではありませんでした。しかしこれには神様の深いご計画がありました。すなわちイエスさまは「貧しさ」の中に生まれてくださったのです。人類の救い主であるイエスさまがこのような低い状態で、お生まれになったのは、まさに神様自らがへりくだって、御子イエスさまを通して人間の側に近づいてくださったということです。このクリスマスの時期、イエスさまのご降誕の意味を深く思い巡らす時となりますように。そして救い主を心にお迎えできますように。